

**中高**

中高では、昨秋から今冬にかけて、各クラブ活動が全国大会をはじめ多くの大会に臨み、大きな成果を上げています。(2面～4面にも記事掲載)

**バレーボール部**

### 中学：生徒2名が東京都選抜チームに選出 各都道府県対抗の全国大会で「第3位」



12月25日～28日、大阪府で開催された「JOCジュニアオリンピックカップ第37回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」に佐藤杏菜さん(3桃)と宮裏里歩さん(3栗)が東京都選抜チームとして出場し、「第3位」の成績を収めました。佐藤、宮裏両選手とも全試合に出場し、準決勝で今大会を制した大阪北選抜にフルセットの末に敗れたものの、各都道府県の選抜チームと熱戦を繰り広げながら活躍しました。宮裏選手はU17日本代表候補、全国中学生選抜チームにも選出され、2月18日からイタリア遠征に参加することが決まっています。両選手の今後の活躍に注目です。



佐藤さん(左)と宮裏さん(右)

**佐藤杏菜(3桃)**

東京都選抜チームに選出していただき、他校のライバル達と4ヶ月間練習を重ねました。活動を通して技術面でもメンタル面でも勉強になることがたくさんありました。大会では、予選グループ戦の試合は緊張のあまり自分の思うプレーができませんでしたが、チームメイトや指導者の先生方から声をかけられ、決勝トーナメントでは力を発揮することができました。選抜チームで学んだたくさんのことを忘れず、高校でも日本一を目指して頑張ります。

**宮裏里歩(3栗)**

東京都選抜チームや日本代表候補合宿など、学校の部活動以外でバレーボールをすることは初めてで、すごく不安でとても緊張しました。合宿を通して技術だけでなく、人としても成長できたと思います。2月のイタリア遠征では少しでもチームに貢献できるよう、そして今まで支えてくださった方々に恩返しができるよう、頑張ります。



**ソフトテニス部**

### 中学：東京都強化研修会【個人】「ベスト16」/ 文京区学年別大会「優勝」「準優勝」

12月3日開催の「都強化研修会【個人】」に関根瑠美さん(2菊)・吉田遥さん(2栗)ペアが出場し、決勝トーナメントで「ベスト16」入りを果たしました。惜しくも東京都選抜選手入りは逃しましたが、3月2日開催の「都強化研修会【団体】」(本校チームで出場)の出場権を獲得しました。

さらに、12月17日開催の「文京区学年別大会」に長谷川理紗さん(2桃)・畠山さわさん(2桃)ペア、前述の関根さん・松本新菜さん(2栗)ペアが出場し、共にトーナメント戦を勝ち上がり、決勝戦で同校対決を演じました。結果は、長谷川・畠山ペアが「優勝」、関根・松本ペアが「準優勝」に輝きました。



関根さん(左)・吉田さん(右)ペア

(写真左から)長谷川さん、畠山さん、関根さん、松本さん

### 高校：東京都私学新人大会「第4位」入賞/ 東京都年間優秀選手に2選手が選出

11月26日開催の「私立高校女子ソフトテニス新人選手権大会」に寺部結季さん(2杉)・松岡海空さん(1杉)ペアが出場し、「第4位」に入賞、3月24日から開催される「全日本私立高等学校選抜ソフトテニス大会」の出場権を獲得しました。昨年も、前述の寺部さん・伊東李々花さん(3梅)ペアで同大会「第4位」に入賞し、全国私学大会出場を果たしており、2年連続の快挙です。

さらに、寺部・伊東ペアは、今年度の活躍が認められ、東京都の2023年度優秀選手に選出されました。2人は高体連より12月25日に受賞報告と表彰を受けました。今回の大会での好成績に加え、1年間積み上げた成果の評価を得ることができ、チーム一同喜びの笑顔で2023年を終えることができました。



(写真左から)松岡さん、寺部さん、伊東さん

**大学**

## アカウンティング コンペティション2023 経営学部生2チームが「審査員特別賞」受賞

12月24日、「アカウンティングコンペティション2023」が開催され、学術的研究分野において、経営学部中島真澄教授のゼミから2～4年生混合の「チームB」、3～4年生混合の「チームC」の2チームが、発表内容で特定の審査項目が極めて優れていたチームを表彰する「審査員特別賞」を受賞しました。

本大会は、会計分野における大学生の研究発表大会で、今年度は71チーム、29ゼミ、23大学が同時開催方式(2方式×2分野=4部門で表彰する方式)において研究成果を競いました。

尚、中島ゼミは、2020年の同大会出場から学術的研究分野で連続入賞をしており、今年度で4年連続の受賞となりました。本学の受賞学生を右に掲載します。

### 審査員特別賞

**チーム B** (学術的研究分野対面方式)  
 吉田翔太(4年)・池田翔真(4年)・  
 平林佑基(3年)・田中啓太(2年)・  
 井上司彩(2年)

**テーマ**

『不正のトライアングル理論に  
 依拠した不正検出モデルの提起：  
 日本の製造業における不正・  
 非不正企業での実証研究』

**チーム C** (学術的研究分野遠隔方式)  
 伊藤まりな(4年)・角谷真生(4年)・  
 長澤駿矢(3年)・野田英杜(3年)

**テーマ**

『Key Audit Matters(KAM)  
 開示は財務報告の質および  
 トーンを変化させるのか？：  
 IFRS適用日本企業の実証分析』



「審査員特別賞」副賞

## GREEN SPIRITS

### 看護学科10周年によせて



保健医療技術学部  
 看護学科長・教授  
 米澤 純子

看護学科は2014年4月の開設から10周年を迎えます。2021年4月には看護学研究科を開設し、2023年3月には初めての修了生を送り出しました。お陰様で研究科には、学部の卒業生が毎年入学しております。卒業生が、臨床で看護実践を積み重ね、成長していく中で、さらに看護を探求しようと母校に帰ってきてくれること

はとても嬉しいことです。院生である彼らが語る看護からは、対象に向かう真摯な姿勢や態度が見受けられ、対象に受け入れられ対象に育てられ、遅く成長してきたことが感じられます。個々の卒業生の努力とともに、我々の教育の成果を自負できる機会を得ることができ、感謝しています。

今年度は1期生が中心となり、母校の後輩のためにと、自主的な会を立ち上げ、BLS(一次救命処置)講習会を開催してくれるという出来事もございました。この会は後輩を巻き込む形で縦の繋がりをつくり、継続していく仕組みとして今後も運営される予定です。卒業生が、後輩のために自分たちの力を発揮し、新たな仕組みを創り、看護のスキルを通してつながっていく姿は誇らしく、我々教員も元気をもらえる出来事となっております。

看護学科の教育の特徴の一つとして、充実した学びの環境である看護学実習室がありますが、開設から10年経過した今も当時のまま美しく磨き上げられ、清潔な環境を保っております。これは、本学教員の意識の高さの顕れであり、オープンキャンパスで訪れた誰もが他大学と比較して驚かれております。理想的な療養環境を整備することは、学生の意識にも大きく影響を及ぼします。また、看護学科では開設時より、看護師国家試験合格率100%を達成してきました。入学時より、一人ひとりの学生に対する丁寧な教育を行ってきた賜物と自負しております。

新型コロナウイルスの感染拡大は社会に大きな影響を与えましたが、危機的状況に置かれても看護実践者としての力を発揮し、人々の健康に寄与できる人材育成・看護実践を目指していきます。



### 高校 「タイ科学交流プログラム」開催

本校は2012年にSSHの指定を受けたことを契機に、タイ王国「プリンセス・チュラポーン科学高校・ベッチャブリー校」(以下PCSHS-P校)と教育提携を結び、毎年互いの学校で科学交流を行っています。

12月17日~26日の10日間、本校理数キャリアコース在籍の2年生12名がタイを訪問し、交流しました。科学交流として、両校教員による「生物」「化学」「物理」の授業では、生徒たちは英語で科学の知見を深め、現地大学教員による「栄養学」の講義では、細菌学・テクスチャー・甘味料の研究室を見学したり、官能検査も体験しました。さらに、タイ語の学習や数学でのベクトルパスルの授業、化学での合成樹脂コースターの授業など、さまざまな理数のアクティビティも実施。また、本プログラムの最大の目的であるPCSHS-P校での口頭発表とポスター発表では、「屋内害虫ヒラタチャタテの青色光による殺虫の実用化に向けて」「ディーブラーニングを用いた大人と子供の手書き文字識別」「日本の伝統的な眉墨『マコモ』とその耐汗性」をテーマに、大学教授、教育機関の方々をはじめ、多くの生徒たちの前で堂々と発表や質疑応答を行う姿が見られました。本プログラムで、生徒たちは多くのことを経験し、英語と科学という2つの共通言語で交流を楽しむことができました。

次回は、前期期間中に、本校にPCSHS-P校より生徒・教員をお迎えします。

ポスター発表を行う生徒たち



### 中学 「クリスマスコンサート」開催

12月16日、駒込キャンパスジャシーホールにて、「中学クリスマスコンサート2023」が開催されました。校内では「クリコン」の愛称で親しまれ、中学生にとっては体育祭や文芸祭に並ぶ、大事な行事の一つとなっています。中学3年生が実行委員となり、中学生主体で企画運営をするのもこの行事の特徴です。

本番当日、ホールにはイルミネーションが光り、ペンライトやキラキラシールも配られました。クリスマスグッズを身につけた生徒たちは、いつもの学校生活とは違う雰囲気を楽しんでいました。今年は器楽合奏の他に、箏やギターの演奏、ポティパーカッションなど、それぞれのチームが練習の成果を發揮しました。また、1年生では英語と音楽のコラボ授業が実施されており、『a whole new world』の英語による合唱も披露されました。そして、次回に向けて早くも2年生からは曲目や演出のアイデアが出されています。アンサンブル(音楽でのコミュニケーション)の喜びを実感している生徒たちの姿が印象的なクリスマスコンサートとなりました。



### 中高 チアダンス部

#### 中学:秋季競技大会・全国大会ともに SONG/POM部門 Large編成「第2位」 高校:全国大会出場

11月27日・28日に「ダンスドリル秋季競技大会 関東大会」が所沢市民体育館で開催され、本校の中学カラーガード部がTALL FLAG部門で「第1位」となりました。中学生のみでの演技となるため、高校生の先輩やコーチにアドバイスをもらいながら、一生懸命練習を重ねました。大会当日が平日だったため、直前まで授業に参加した後での演技となりましたが、本番では全力を出し切り、見事「第1位」を獲得しました。



中学チアダンス部メンバー



高校チアダンス部メンバー

### カラーガード部

#### 中学:秋季競技大会TALL FLAG部門「第1位」 中高:全国大会「銀賞」

11月27日、「ダンスドリル秋季競技大会 関東大会」が所沢市民体育館で開催され、本校の中学カラーガード部がTALL FLAG部門で「第1位」となりました。中学生のみでの演技となるため、高校生の先輩やコーチにアドバイスをもらいながら、一生懸命練習を重ねました。大会当日が平日だったため、直前まで授業に参加した後での演技となりましたが、本番では全力を出し切り、見事「第1位」を獲得しました。

2024年1月28日、「第7回カラーガード・マーチングパーカッション全国大会」が群馬県の高崎アリーナで開催され、中高カラーガード部が「銀賞」を獲得しました。カラーガード部門のチーム参加が最も多い大会で、一段と練習にも力が入りました。今年度は、コロナが5類になって以降初めて合宿を冬休みにし、大会に向けての振り付けを集中的に覚えました。本番までの練習期間が短く、どれだけ内容の濃い練習ができるかが鍵でしたが、必死に練習し、当日は今までの中で一番揃った良い演技を披露することができました。これで今年度の大会参加はすべて終了となります。また来年度に向けて頑張っていきます。



### 大学 人間学部3年生が日本文化体験・レトロ・坂道に関する「まちあるきコースMAP」を制作・無料配布中

人間学部コミュニケーション社会学科では「まちラボプロジェクト演習」(本担当:貫井万里准教授)の一環として、「文京まちあるきコースづくり-文京区の魅力の発見と発信」プロジェクトを実施しています。2023年度の同プロジェクトでは、同学科の3年生13名が文京区内のさまざまな場所を訪ね、後世に残したい日本文化体験ができる施設や、歴史的建築物、また土地の起伏と様々な景観が楽しめるという文京区の魅力を取材し、『日本文化体験コース』『レトロかぶれコース』『坂道・健康コース』の3つのコースでMAPを制作しました。完成した各1,000部のMAPは、本郷キャンパス「まちラボ」で配布するとともに、本MAP上で紹介した場所や施設等で無料配布されています。学生は、今後も地域との交流を増やし、地域活性化の一助となるような取り組みを実施していきます。

#### 『日本文化体験コース』



『日本文化体験コース』表紙と掲載ページ

#### 『レトロかぶれコース』



『レトロかぶれコース』表紙と掲載ページ

#### 『坂道・健康コース』



『坂道・健康コース』表紙と掲載ページ

### 大学 「キャリアてっぺんフォーラム」開催

本学の卒業生や就活を終え内定を得た4年生が、後輩たちに働く意味や内定獲得に向けた体験を伝える「キャリアてっぺんフォーラム」が各キャンパスで開催され、就活体験談の講演やパネルディスカッションなどが行われました。

#### ふじみ野キャンパス(11月15日)



キャリアてっぺんフォーラム学生実行委員長 伊藤こと乃(人間学部心理学科3年) 「直接先輩方の話を伺い、就活のやり方はひとそれぞれ。十分な企業研究を行い、自分の適性を見極めて就活の軸を模索しながら各自に合った方法を見つけることが大切だと感じました。また、大学での学びが社会でも生かされることも知ることができました。このフォーラムが少しでも不安や焦りの解消につながれば幸いです」

#### 〈発表者〉

- 株式会社サイ引越センター 吉田統太氏(2023年3月人間学部心理学科卒業) 「自分流の就活方法を見つけよう」
- カメイ株式会社 但野吹樹(人間学部人間福祉学科) 「企業研究を徹底しよう」
- アデコ株式会社 船渡聖央氏(2023年3月人間学部心理学科卒業) 「大学での学びを将来に活かそう」

#### 本郷キャンパス(12月6日)



キャリアてっぺんフォーラム学生実行委員長 佐藤ゆかり(外国語学部2年) 「今回は、昨年よりも発表者を増やしての開催となりました。就職活動を終えた先輩方から就職活動に対するモチベーションや情報についてお話ししてくださいました。発表者6人の先輩方は、それぞれ異なる学部のため、様々な視点から就活を見ることができました。今回のイベントを通して就活に対するイメージがわかりました」

#### 〈発表者〉

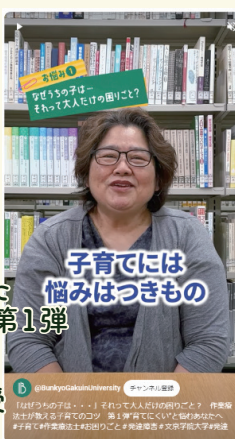
- 全日本空輸株式会社 寺岡歩美(外国語学部) 「『なりたい!』を実現させよう」
- 株式会社トレジャー・ファクトリー 宮田舞菜(人間学部コミュニケーション社会学科) 「他人と比べない就職活動」
- 株式会社PALTAC 新井田隼大(外国語学部) 「進路実現に向けて」
- マンパワーグループ株式会社 橋本雅哉(人間学部人間福祉学科) 「何事にも挑戦」
- 株式会社メンパズ 黒河内拓巳(経営学部) 「とりあえず行動してみる」
- 大和ハウス工業株式会社 瑞慶寛瑠奈(経営学部) 「楽しむ就活」

### 特集 注目のトピックス

Topic 01 12月28日

ショート動画を活用した社会貢献プロジェクト第1弾

保健医療技術学部 神作一実学部長・教授 作業療法士が教える「子育てのお困りごとへの向き合い方」全5動画を公開



Topic 02 1月7日

中西美祐さん(高2軟/右)・梨花さん(中3軟/左) 東京私立中学高等学校テニス選手権大会(個人) 本戦に姉妹で出場



Topic 03 2月10日・11日

音楽とアートの祭典 「アートフェスタふじみ野2023」に本学の学生6名が運営協力、人間学部小林剛史教授と渡辺行野准教授がフルート&ピアノDuoで出演



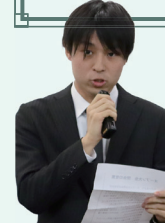
### 優秀賞

#### \*\*\*【プレゼン部門】\*\*\*

- 【外国語学部】渡部ゼミ3年 Team Red 「女性の環境改善を目指して」
- 【外国語学部】渡部ゼミ3年 Team Blue 「避難所で活躍できる大学生~関東大震災から100年を迎えて~」
- 【経営学部】押切ゼミ2年 押切ゼミBチーム 「スタディケーションの認知度向上」

#### \*\*\*【研究部門】\*\*\*

- 【経営学部】押切ゼミ2年 押切ゼミAチーム 「なぜ大学生の投票率は低いのか」
- 【経営学部】押切ゼミ2年 押切ゼミCチーム 「インフルエンサーの投稿は大学生の購買を促進させるのか」
- 【経営学部】大野ゼミ3年 大野ゼミグループB 「飲食業界のSDGsフードロス問題解決」
- 【経営学部】川越ゼミ3年 川越唐棧ベビー班 「川越唐棧をベビー用品へ」
- 【経営学部】栗屋ゼミ2年 カンロ2.0 「甘露~天から降る甘い露~」



坂本さん

ゼミナール協議会会長の坂本侑太郎さん(3年)から、大会を振り返って次のコメントが寄せられました。

「オープン大会に参加された皆様、まずは大変お疲れ様でした。今年度大会も無事に終了することができました。プレゼン部門も研究部門も大変素晴らしい発表でした。これからも各チームで、より良い研究がされますよう心より願うと共に、大会の振り返りとさせていただきます」



高校

サッカー部

# 東京都高校女子サッカー新人戦大会 大金星で14年ぶりの「準優勝」

11月3日から開幕した「第24回東京都高等学校女子サッカー新人戦大会」において、高校サッカー部が14年ぶりに準決勝の壁を突破し、見事「準優勝」となりました。



1・2回戦を順調に勝利し、年が明けた1月28日の準々決勝では日大櫻丘高校と対戦しました。交代要員なしの11人全員での総力戦となりましたが、今大会でFWに抜擢された選手たちが得点を重ね、2-0で見事勝利し、「ベスト4」進出を決めました。

そして迎えた2月12日の準決勝では、14年連続で全国大会に出場している強豪校である修徳高校との対戦となりました。本校の選手たちは「1対1では絶対に負けない」という覚悟で挑み、苦しい場面も多々ありましたが、全員が集中してゴールを守り、何とか無失点で70分間を終えました。そして、試合はPK戦に突入しましたが、最後まで諦めず、見事に13-12で勝利し、選手層の厚い全国常連校を相手に大金星を挙げました。

2月18日の決勝では、全国準優勝の十文字高校に残念ながら敗れましたが、選手たちは全力で戦い抜き、「準優勝」という結果で今大会を終えることができました。



### 長谷川宙 主将(2杉)コメント

「(準決勝で)失点せずに勝てたことは素直に嬉しかったですが、試合内容は圧倒的に修徳高校のゲームでした。チームとして、攻撃のバリエーションを増やしたり、クロスのボールをあげさせないようにもっと詰めたり、相手との距離感を意識すべきだと思いました。(今回の結果を受けて)インターハイや選手権でも良い結果を残したいと強く思いました」

幼稚園

## 園児がおおしま国際 手づくり絵本コンクールで 「朝日新聞社賞」受賞

11月10日、富山県の射水市絵本文化振興財団が主催する「おおしま国際手づくり絵本コンクール2023ジュニアの部」の審査結果が発表され、本学文京幼稚園年中組の杉山瑠璃さんの『ちゅうらうみのいるちゃん〜いるかのおはなし〜』が朝日新聞社賞に選ばれました。



杉山さん

杉山さんは自身の絵本作品について、「もともとイルカが好きで、今年の夏休みに沖縄の美ら海水族館を訪れたこともきっかけとなり、夏休み中にイルカの“いるちゃん”(主人公)の話を描きたいと思った。ストーリーはどんどん頭に浮かんだので、すぐに最後まで話を決めることができた。絵本を作るのはとても楽しくて、最後までずっと楽しく作れた。作品の中(場面)に毛糸・お花紙、セロファンを使い、工夫した」と話し、今回の受賞についても、「賞をもらって、嬉しかった。富山のおじいちゃん・おばあちゃんも喜んでくれた」と喜びのコメントが届きました。

大学

## 「マッスルプロジェクト」 大学祭での公演売上金をふじみ野市へ寄付

12月27日、「マッスルプロジェクト」を代表して、保健医療技術学部理学療法学科3年の栗山昇也さん、加藤滉大さんがふじみ野市役所を訪問し、大学祭での公演チケットの売上金20,700円の寄付を行いました。

「マッスルプロジェクト」は、2006年に保健医療技術学部を開設した当初から、同学部生たちが自主的に始め、今年で18代目と続く伝統サークルです。パフォーマンス披露は、年1回、大学祭内での公演を行っており、大学祭当日には地域住民をはじめ近隣エリアからも観客が来場する名物イベントとなっています。今年度も総勢53名で披露し、来場客の方々と大いに盛り上がりました。

今回のふじみ野市への寄付金は、学生の希望であるふじみ野市の社会福祉サービス向上のために活用いただく予定です。今後もサークル活動をはじめとした学生の取り組みを通して、地域との交流を深めていきます。

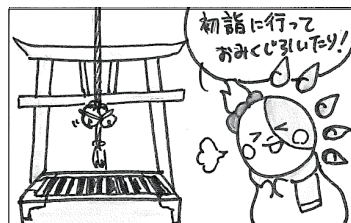


BUNKYO GAKUIN  
100TH  
ANNIVERSARY  
TOPICS  
SINCE 1924-2024



ひたむき・まへむき・おもむき  
tomoちゃん

第92回  
画：美術部(高校) M.S.



島田依史子

信用は  
パートで  
売っていない

教え子とともに歩んだ女性の物語

女性に自立の力を

わずか22歳で「島田依史子研究所」を創設。女子教育を一生の仕事と決め奔走し、幾多の困難を乗り越え、学校法人文京学院を築き上げた波瀾の人生。

100 ANNIVERSARY

講談社エディトリアル

## 創作者島田依史子著『私の歩んだ道』 タイトル新たに2024年3月より 一般書籍化・全国書店販売へ

本学院の創作者島田依史子先生の著書『私の歩んだ道』は、本書を原案として始まった100周年記念事業の一つである「映画化プロジェクト」に先立ち、以下の新しいタイトルと装丁にて一般書籍化が決定しました。2024年3月6日より全国の書店で販売開始となります。

『信用はパートで売っていない 教え子とともに歩んだ女性の物語』

著者：島田依史子 出版社：講談社エディトリアル  
発売日：2024年3月6日 価格：本体1,600円(税別)

### BOOK INTRODUCTION 書籍紹介



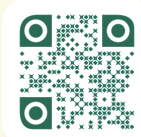
### 『人間共生論入門』

文京学院大学編集『人間共生論入門』がミネルヴァ書房より刊行されました。本書は2024年4月より、1年次開講の大学共通科目「人間共生論」の教科書として使用される予定です。

著者(執筆順):中山智晴(人間学部教授)・吉田修馬(上智大学特任准教授)・小林宏美(人間学部教授)・甲斐田万智子(外国語学部教授)・登丸あすか(人間学部准教授)・小林剛史(人間学部教授)・畑倫子(人間学部准教授)・文野洋(人間学部教授)・山崎幸子(人間学部教授) / ミネルヴァ書房(2024年2月) / 2,200円(税込)

### 「学校法人文京学院創立100周年記念事業募金」のご案内

本学院は、2024年に創立100周年を迎え、100周年を祝う式典・イベントの他、さまざまな記念事業が計画されています。それに伴い、「学校法人文京学院創立100周年記念事業募金」を計画し、ご寄付をお願いすることとなりました。何卒、本趣旨にご賛同いただき、ご縁ある一人でも多くの皆様より温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



100周年Webサイト